

「ICMIF 5-5-5 マイクロインシュランス開発戦略」を通じて インドのダーン財団へ寄付を行いました

コープ共済連（日本コープ共済生活協同組合連合会 代表理事理事長・佐藤利昭）は、国際協同組合保険連合（ICMIF）が推進する「5-5-5 マイクロインシュランス開発戦略（5-5-5 戦略）」を通じて、インド国内でマイクロインシュアランスの普及を目指すダーン財団への寄付を行いました。

「5-5-5 戦略」は、保険未加入の低所得者層の人々の暮らしに安定をもたらし、日常生活で直面するリスクに備えられるよう援助する取り組みです。コープ共済連はその趣旨に賛同し、2018年度から支援パートナーとなっています。

コープ共済連は、寄付を通して、「誰も取り残さない」共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

1. 寄付概要

寄付金額：50万円






寄付先：ダーン財団（インド）

ダーン財団では、インド国内の生命・医療・家畜・農作物を保障するマイクロインシュランスの普及を目指す取り組みを進めています。

2. 5-5-5 戦略の概要

国際協同組合保険連合（ICMIF）が進める 5-5-5 マイクロインシュランス開発戦略は、2017年4月からの5年間で新興5カ国（インド、フィリピン、ケニア、コロンビア、スリランカ）において、保険非加入の低所得層の5百万世帯（合計2,500万人）を対象に、協同組合/相互扶助の理念に基づいたマイクロインシュランスの普及を目指しています。

5-5-5 戦略は、国連が2030アジェンダに盛り込んだ持続可能な開発目標（SDGs）のうち、少なくとも下記5つの目標に関連しています。

- | | |
|--|-------------------------------------|
|  <p>1 貧困をなくそう</p> | 貧困の悪循環を断ち切り、脆弱な地域社会にセーフティーネットを作る |
|  <p>2 飢餓をゼロに</p> | 小規模農業者の保険加入が食糧確保対策の一つとなる |
|  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> | 医療保険へのアクセス向上とともに、病気予防や医療の質の向上にも注力する |
|  <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> | 女性が保険契約者であるケースが多いため、女性にプラスの影響を与える |
|  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> | プロジェクト対象5カ国は気候変動の影響を最も受けやすい地域でもある |

お問い合わせ先

日本コープ共済生活協同組合連合会 渉外・広報部（担当 南波・大杉）

TEL：03-6836-1320／FAX：03-6836-1321（平日10時～17時 土日除く）

e-mail：kyosaiinfo@coopkyosai.coop